血液疾患と歩む患者・家族の会
まろまろ
会報　第29号　2015/9/10

●リレー・フォー・ライフ・ジャパン青森2015が開催

がんに負けない社会をめざし、24時間ウォーキングなどを行うイベント「リレー・フォー・ライフ・ジャパン」が、9月5日（土）～6日（日）の2日間、青森市の新青森総合運動公園で開催されました。青森市で開催されるのは今回が初めてで、患者団体など26チームが参加し、5日の正午から24時間トラックをリレーして歩きながら、がんになっても安心して暮らせる社会の実現を目指して力を合わせることを誓い合いました。

会場では「青森県におけるがん発症について」等の講演のほか、青森大学・青森山田高校新体操部「チーム・ブルー」によるパフォーマンス、「坂本サトル」ミニライブなど、催しも盛りだくさん。まろまろではリサイクルの「掘りだしものショップまろまろ」と骨髄バンク説明コーナーを出展しました。

終わってみれば、イベント全体で300万円を超える寄付が集まりました。収益金は「日本対がん協会」に寄付され、がん医療の発展などのために活用されます。

まろまろチームは、患者・家族のほか県立中央病院血液内科の医師・看護師、骨髄バンクスタッフ、ボランティアなど、30名を超えるメンバーで臨み、24時間、ダントツのペ1,480周、約296キロを歩き通しました。みんなのチーム力でした。このあと帰宅した皆さん、泥のように眠ったそうです。（*^_^*）

● 第18回市民公開講座が三沢市で初開催

7月11日（土）、三沢市国際交流教育センターで開催され、八戸市や上北郡など周辺市町村から100名を超える参加がありました。

第1部は「こんな症状を甘く見ていませんか」と題して、三沢病院事業管理者の坂田優先生が検診の重要性について特別講演を行いました。

坂田優先生

第2部は「骨髄移植にかかわった人の思い」というテーマで、県立中央病院の坂本周子がん化学療法認定看護師から骨髄移植の流れについて説明が行われた後、骨髄バンクコーディネーターなどによる寸劇が行われました。

続いて、移植体験者のまろまろ会員、納谷むつみさんから体験発表がありました。

坂本周子看護師

寸劇でコーディネートの様子を再現

納谷むつみさん

情報提供会の模様

今回は、講演に先がけて「血液疾患情報提供会」が開催され、白血病や骨髄異形成症候群など4つの部屋に分かれて、専門医からの情報提供と参加者からの相談などが行われました。参加者からは「先生を身近に感じることができた。」、「とても勉強になった。」、「このような機会が増えると嬉しい」などの声が寄せられました。

公開講座終了後は、きざん三沢で講師の先生方を囲んで、懇親会が開催されました。

（報告：otomo）

● まろまろからのいろいろなお知らせ

第18回市民公開講座　懇親会の模様

●第19回市民公開講座　ー骨髄移植を知ろうー

with 青森山田中学高等学校吹奏楽部
「いのちのリレーコンサート」

と き：10月24日（土）12:00～16:00
ところ：青森市 リンクモア平安閣市民ホール（青森市民ホール）
12:00～　血液疾患情報提供会
13:00～　第1部
「骨髄バンク・ドナーリクルートの現状と課題について」
「骨髄ドナーさんの3泊4日」
～いのちのリレーコンサート Part.1
14:35～　第2部
ドナー経験者の体験発表
骨髄移植体験者の体験談
～いのちのリレーコンサート Part.2

●平成27年度まろまろ総会が開催

7月25日（土）、青森県立中央病院3階大会議室で総会が行われ、26年度の活動報告と新年度の活動計画が承認されました。

役員の異動は以下のとおり。
- 新監事　濱形優さん（長尾浩吉さんが退任）
- 新運営委員　荒木関覚さん、田中敏之さん、納谷むつみさん　（島見チサさんと佐藤孝治 さんが退任）
- 新会計　佐藤ツヨ子さん、前田深雪さん

（報告：otomo ）

総会の模様

● 『まろまろ』新運営委員の紹介
（H27年7月～29年6月）

代　表　山本俊二
副代表　成田昭一
　　前田深雪

○ 学習会・相談活動担当
小笠原佳子
葛西祐司

○ 会報・情報提供活動担当
小友克彦
納谷むつみ
村木由起子

○ レクリエーション・ボランティア活動担当
高坂行成
三上綾子
荒木関覚
田中敏之

○ 会計担当
佐藤ツヨ子
前田深雪

○ 監事
濱形優
須藤美由紀

市民公開講座　展示
（アデランスさん）

ー どうぞよろしくお願いいたします　ー

● 平成27年度(27年7月～28年6月）会費納入のお願い

年会費は、年度内にまろまろの行事にご参加の際などに納入してください。
口座振込をご利用の場合は、下記の口座にお願いします。
なお、年度後半（1月～6月）から新しく加入された方については、翌年度分からとなります。

郵便貯金口座　記号18450　番号 4786101
口座名：血液疾患と歩む患者・家族の会　まろまろ

銀行口座　青森銀行八重田支店　NO.3033241
口座名：血液疾患と歩む患者・家族の会　まろまろ　代表　山本俊二

●情報・相談コーナー　まろまろのもろもろルーム

投稿

納谷　むつみ さん（会員）　～入院の想い出～ その5　「２４時間３６５日」

産婦人科がご専門の小川克弘先生はむつ下北地方の産婦人科医療の充実を目指してむつ総合病院に赴任され、数年前に院長で退職されました。仕事でお世話になっていたのですが、とても印象に残っている場面があるのでこっそりご紹介させて頂きます。

何年前だったか、まだワイが健康自慢でワッタメガシテいた頃です。後輩と思われるお医者さんが、難しい患者さんのことを小川先生に相談されていた場面を偶然お見かけしました。いくつかのやり取りのあとで「きみはその患者のために24時間365日努力しているのかっ!!」と厳しく注意されていたのです。

はっっっっ!!としました。お医者さんも看護師さんも、24時間365日患者の事を考え続けている、患者と同じ苦しみを味わっているという当然の事を、小川先生の気魄の一言が気付かせてくれたのです。頭でわかっていた事を気持ちが納得した、実感したという感じでした。当時は元気もりもりで病気とは縁がないと思っていた自分にとっても、とても心強い「気づき」を得られた出来事でした。

小川先生のあの一言は、「相談員」という人と関わる仕事をしている自分にも突き付けられた重く厳しい問いのようにも感じられました。相談を受けて対応に悩む時、自分は24時間365日その相談者のことを真剣に考えているのか、安易な解決策を提案していないか、新しい可能性を見つける事を諦めているのではないか・・・・小川先生の言葉を思い出し自問自答しています。

８階の食堂の近くに、先生方がいつもパソコンを見ている小さな部屋があります。夜明けの八甲田を見ようと薄暗い廊下を食堂に向かう時、その小さな部屋に電気がついている事がしばしばありました。パソコンの電源も入ったまま机から離れた椅子はドアの方を向いていて、先生はちょっと席を外しているだけですぐに戻ってくるから大丈夫だよ、とこちらに語りかけてくるようでした。

ナースステーションにいる夜勤の看護師さん達も、あの美しい夜明けを見る事もなく仕事に没頭し、あるいは机に突っ伏して仮眠しています。それでも白衣の天使の清潔感と凛々しさは変わらず、背中には可憐に震える小さな羽根が見えるようでした。

今でも、ちょっと心細い時、仕事がうまくいかない時、「24時間365日」と心の中で呟いてみます。治療の辛さや入院生活の不自由さをわかってもらえないという孤独を感じる時、再発の不安に気持ちがどんどん落ち込んでいく時、皆さんも「24時間365日」と繰り返して下さい。24時間365日、患者は守られ、癒され、治されている、ひとりじゃないっていう気がしてきて、肩の力が抜けていきますよ～。

（つづく）

●「青森県がん患者支え合いフォーラム」が開催されます

○むつ会場　10月3日（土）13：00～
場所：むつグリーンホテル
内容：講演「免疫力がつく食事」坂本謙二氏
盲目のシンガーソングライター板橋かずゆき氏
※まろまろブース出展

○八戸会場　10月3日（土）13：00～
場所：イオンモール下田
内容：講演「大腸がんを知ろう」西川晋右氏
「ストマってなあに？」笹森祥子氏

○弘前会場　10月18日（土）13：00～
場所：弘前市　コミュニケーションプラザ
内容：講演「自然食に関すること」佐藤初女氏
「緩和ケアについて」馬場祥子氏
※まろまろブース出展

○青森会場　11月23日（土）13：00～
場所：ウェディングプラザ アラスカ
内容：講演「がんのピアサポートに活用できるコミュニケーションのコツ」渡辺亨氏
「アピアランスケアについて」
※まろまろ参加・ブース出展

＜お問合せ＞
青森県がん・生活習慣病対策課　電話　017－734－9216

● 恒例 バス遠足のお知らせ

会員以外の方も大歓迎です！！

◇ **と　き**

平成２７年１０月　３日（土）

◇ **ところ**

弘前市　「星と森のロマントピア」

◇ **にってい**

県立中央病院をバスで出発。青森市古川（まちなか温泉前）を経由。
到着後は、森を散策したり、天然温泉につかったり。
お昼は、恒例のバーベキューです。（屋外なので暖かい服装で）

出発	（乗車）	到着			出発	（下車）	到着
県病	古川		散策、温泉、温水プールなど	バーベキュー（12:00～13:30）		古川	県病
9:30	9:50	11:10			14:20	15:40	16:00

◇ **参加費（当日徴収）**

おとな￥３，９００　こども（小中高校生）￥２，０００

※　参加費には、バス代、バーベキュー・飲み物代、温泉・温水プール利用料金を含みます。事情によりキャンセルされる場合はお早めに。支払いが発生した場合は、実費分をご負担願います。

※　温水プールをご利用の方は、水着・水泳帽・タオルをご持参ください。（レンタルをご利用の場合は別料金となります。）

◇ **申込方法**

- 参加者のお名前、乗車場所を、**同封のハガキ**でお知らせください。
- 準備の都合上、**９月２４日までに投函**してください。
- 会員以外の方のお試し参加も歓迎です。下記までお電話ください。

お問合せ：090-1372-1610（レク担当：高坂）または090-9634-6703（山本）

◇ ご寄付いただきました

あおもりフラ協会　様　　金50,000円

あおもりフラ協会（事務局：木村邦子様）主催で６月２８日に開催された、骨髄バンク支援「あおもりチャリティ・フラショー」の入場料などから寄付してくださいました。

誠にありがとうございました。<(_ _)>

骨髄バンク情報（H27年7月末現在）

	全　国	青森県
患者登録者数	1,520人	23人
ドナー登録者数	450,129人	6,914人
対象人口千人あたり	8.00人	12.44人(10位)

※ドナー登録者数は18～19歳の登録者を除いた数

ー資料：（財）骨髄移植推進財団 ー

血液疾患と歩む患者・家族の会　まろまろ

＜事務局連絡先＞　青森県立中央病院　血液内科　外来

TEL　017-726-8141　　FAX　017-726-8083

〒030-8553　青森県青森市東造道2-1-1

県病HP　http://www.aomori-kenbyo.jp/ketsueki

ブログ　http://maromaroaomori.cocolog-nifty.com

Twitter　http://twitter.com/maromaro_aomori